

- 本誌は、毎月1回、都道府県石油組合、北海道18石油組合、共同事業部会委員、農林漁業部会委員に配信しています。
- 全石連のホームページ“石油広場：<http://www.zensekiren.or.jp/>”に最新号から1年前のバックナンバーまで掲載しています。
「石油広場 トップページ」⇒「各種情報」⇒「共同事業グループニュース」

(目次)

1 斡旋品に関するご連絡

2 共同購買グループの体制について

3 中型生命グループ保険の最新加入状況

4 共済・保険斡旋様式一覧のご案内

5 共済・保険斡旋グループの体制について

6 「ガソリンのギフト券」の進捗状況

7 「2021年度4月 国A実績について

8 農林漁業グループの体制について

1. 斡旋品に関するご連絡

灯油缶の価格改定について

仕入れ先より原材料価格の高騰に伴い、価格改定（値上げ）の要望がありました。仕入れ先と交渉の結果、最低限の値上げ幅、改定時期を後ろ倒しすることで改定することとなりました。

具体的な価格については別途事務連絡にてご連絡致します。

価格改定時期：2021年10月1日（金）注文分より。

消火器の納期について

蓄圧式粉末（ABC）業務用消火器10型（YA-10NX、YA-10NXD）につきまして、部材不足により生産に支障が生じ、納期が遅延しております。

6月末時点で注文頂いても、出荷は7月中旬以降となりますので、その点をご了承頂きご注文下さるようお願い致します。（ご注文後、出荷時期がわかりましたらご連絡致します）

2. 共同購買グループの体制について

7月1日（木）付で岸田健志（kishida@zensekiren.or.jp）が、共同購買グループチームリーダーとして着任致します。

3. 中型生命グループ保険の最新加入状況

7月1日現在の加入者数は、6,907人（前月6,907人、前月比39人減）となりました。

また中型生命の2021年度の加入継続状況がまとまり、速報値で6,759人、大幅な減少となりました。これは通常の社員の退職による解約の他、保障内容の見直しによって他の保険商品に全社的に切り替えられた案件もありました。

中型生命のオプションとして提供している「交通事故傷害保険・傷害総合保険」の加入者も減少しており、現在適用されている割引率の条件人数を下回る状況となりました。来年度の加入から、適用される割引率が下がり保険料が上がることとなります。来年度の継続案内発送前に皆様にご連絡いたします。

4. 共済・保険斡旋様式一覧のご案内

6月22日に共済・保険斡旋商品の最新様式をメールでご案内しました。

今年度の大きな変更点は自家共済の事故報告書類にFAX番号の記入欄を設けたことです。従来、共済金の送金案内は郵送しておりましたが、迅速性と合理化の観点から、ファックスでの連絡に切り替えることにいたしました。

組合に届いた共済金請求書類にFAX番号の記入漏れがあった場合は、追記くださるようお願いいたします。

5. 共済・保険幹旋グループの体制について

7月1日（木）付で佐藤祐子が石油協会に異動、共済・保険幹旋グループチームリーダーの後任を佐藤幸子（s-sato@zensekiren.or.jp）が担当します。

共済・保険幹旋グループは、田中、山崎、佐藤（幸）、小山（おやま）での体制となります。

6. 「ガソリンのギフト券」の進捗状況

参加組合事務局のお取組みにより、ガソリンのギフト券（Gギフト券）の認知度はゆっくりと広がっていると感じています。

法人のお客様では、4月に購入したメーカー系ディーラーから新車成約用のノベルティとして160枚の注文、公務員共済会の会員向けイベントの賞品として2,000枚を購入したいという問い合わせがありました。

個人のお客様では、誕生日のプレゼント、東京に住む家族から購入者が地方に住む両親へのプレゼントとして購入した事例がありました。

6月11日より、Gギフト券webサイトの購入申込画面に、「どうやってガソリンのギフト券を知ったか」について、1.ガソリンスタンドで知った、2.検索して知った、3.石油組合から聞いた、4.知り合いから聞いた、5.実際にもらった、6.以前に買ったことがある、から選んでもらうアンケート項目を追加しました。回答結果では、「検索して知った。」事例が大半となっています。ガソリンスタンドで使える商品券を買いたいという思いから検索をして本会のサイトにたどり着いたケースです。

Gギフト券の認知度を高めていくルートの一つに、組合員の皆様が地域で築かれている人的ネットワークは最も効果を期待できるものと思っています。

是非、組織ネットワークを通して、Gギフト券の宣伝へのご協力をお願いいたします。

取扱店登録状況：2021/6/28 現在

	参加SS数	販売枚数
青森	171	0
岩手	238	427
宮城	232	220
福島	429	838
秋田	256	215
山形	186	53
東京	197	155
全石連		600
計	1,681	1,908

注) 販売枚数は購入者の住所ベースで集計

7. 2021年度4月 国A実績について

前回、国Aの2020年度の実績が固まったとのご連絡をしましたが、その後若干の追加があり、2020年度年間実績は対前年度比 101.6%の55万5千キロリットルとなりました。

一方、2021年度4月の確認数量実績は対前年度同期比 85.5%の3万8千キロリットルと大きく減少しました。単月で見ると2020年度の2月・3月も前年度割れとなっており、これで3か月連続の前年度割れとなりました。

この原因としては、新型コロナウイルスの感染拡大、暖冬などの影響の他、海外製品安の影響も考えられます。新年度が始まったばかりですので、あらためて組合から登録業者に対し総括表の提出の励行を要請し、今後の確認数量拡大につなげていただければと思います。

なお、2020年度の実績は確定しましたが、上記でお伝えしたように追加を受付可能なものもあるので本会までご相談ください。

8. 農林漁業グループの体制について

本会の7月1日付け人事異動では農林漁業グループの配属に変更ありません。
各担当は下記の通りです。

【統括】	田中
【無税】	岸野
【国A】	佐藤(幸)、畑岡
【農軽】・【海運】	竹内

----- 【農林グループからのお願い】 -----

無税重油、国産A重油、農林軽油、海運用燃油に関する総括表等に設けている提出期日が近づいてきましたら、登録業者からの提出状況をご確認ください。

期日までの提出励行にご協力をお願いいたします。